

令和4年度第21回 北海道支部定期総会・講演会報告

運営委員 富田 勝江

令和4年6月5日（日） 帯広市グリーンプラザで開催された日本ALS協会北海道支部の総会・講演会が無事に終わりました。

会場並びに Zoom で 75 名の方々にご参加してくださいました。

支部総会では珍しくメディアも、十勝毎日新聞、帯広シティーケーブルテレビ、NHK 及び STV が取材に入りました。

北海道支部の皆さんの協力のもと、ALS 患者家族、行政、医療、福祉、難病患者、支援団体等たくさんの方がご参加くださいました。

病気を発症してどうしていいかわからない方、涙ながらに気持ちを伝えようとお話をしてくださる方、その思いを受け止める支部の皆さん、本当にありがとうございました。

Zoom 参加で、支部の方、行政、釧路からソーシャルワーカー、十勝管内からも患者家族、医療関係者の方々、名古屋からご参加いただいた愛知県支部長の I 様、本当にありがとうございました。

第1部の定期総会は、澤口事務局長から 2021 年度事業報告及び 2022 年度事業計画の説明があり、そして会計からは 2021 年度会計報告と 2022 年度の会計予算案の説明があり、ご承認を頂きました。

第2部では、音楽療法活動をしている「歌の翼隊」により十勝出身の歌手や皆が元気になる楽曲を演奏しました。

医療講演では、リモートにより帯広厚生病院副院長保前先生が「ALS の治療と療養について」で講演いただき、その後 ALS 当事者佐藤様と NPO 法人みんなのポラリス水口様による「私の声プロジェクト」でボイスターにより音声を残した思いを発表していただきました。

日本 ALS 協会北海道支部帯広支会が発足して 8 年ほどになります。

辛いことが多く（人との別れ）何度も辞めたいという気持ちになりましたが、辛くてもコツコツ続ける事の大切さを患者さん、家族、支部の方々が教えてくださり、帯広支会の仲間と支えあってきました。

医療・福祉関係者・行政も帯広は熱心に関わってくれる方が多く、ここま
で続けてこられたと感じています。ALS という難病だけではなく、他の難
病患者も、どんな病気の方ともつながり合う大切さをこの8年で学んでい
ると感じています。

コロナがなければ支部総会が帯広市で開催することも無かったと思います
が、このコロナ禍でも 75 名という多くの方がご参加いただきましたの
で、ALS（筋萎縮性側索硬化症）という病気を多くの方に知って欲しい。
多くの方に伝えたいとの思いが少し達成できたかと思います。

本当に素晴らしい総会&講演会だったと思います。

参加して下さった皆さん、本当にありがとうございました。

2022.06.06 記



総会時会場の模様



「歌の翼隊」の演奏